

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



令和3年度

近畿中国森林管理局 重点取組事項について

【企画調整課】

近畿中国森林管理局では、「公益重視の管理経営の一層の推進」、「林業の成長産業化に向けた貢献」、「国民の森林としての管理経営」に向け、各般の取組を積極的に進めていくため、「令和3年度重点取組事項」を作成しましたので御紹介いたします。

令和3年度重点取組事項



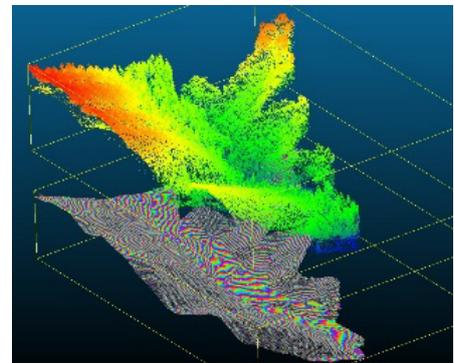
令和3年4月
林野庁 近畿中国森林管理局

表紙絵

1 公益重視の管理経営の一層の推進

1 ICT等を活用した管理経営の一層の推進

森林資源管理のスマート化による革新的な森林管理の実現に向け、行政機関、研究機関や関連分野の企業など産学官からなる「森林資源管理のみらいチャレンジ研究会」を昨年度に立ち上げました。今後、複数のテーマを設定し、スマート化技術の実証・実用化にチャレンジします。



航空レーザ測量データの解析画像
(森林技術・支援センター作成)

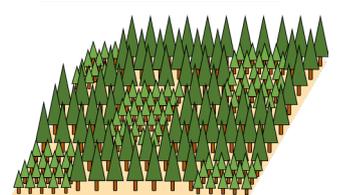
2 多様な森林づくりの推進

スギ・ヒノキの育成単層林となっている区域において、多様な森林づくりのモデル的な取組として、面的複層林の導入、針広混交林化などを進めます。

針広混交林のイメージ



面的複層林のイメージ



3 シカ被害対策

国有林では新植箇所等の保護を適切に行うほか、地域と一体となったシカ捕獲、生息状況調査などに取り組みます。また、当局職員が開発した「小林式誘引捕獲法」の普及に取り組みます。

小林式誘引捕獲の概要



シカが餌を食べる様子
前足を口元へ置く



円の中央から、わな、障害物(石)誘引餌(ハチーブ・米ぬか等)

メリット

- 1.ワナの設置場所はどこでもOK! ⇒ 道沿いなどに設置。
- 2.初心者でもOK! ⇒ 特別な技術は不要で捕獲効率が高い。
- 3.安全! ⇒ 道から視認できる場所に設置できる。
- 4.労力低減! ⇒ 見回りや個体処理が容易。
- 5.コストが安い! ⇒ 短期集中で捕獲可能。

4 治山・災害復旧対策の推進

4-1 治山事業の推進

国有林のみならず、民有林の災害復旧に取り組むとともに、地域の安全・安心を確保するための事前防災・減災対策を推進します。また、工事施工にあたっては、ウェアラブルカメラ※等を活用した遠隔での立会による現場監督等、ICT技術導入の取組を積極的に進めます。

※ウェアラブルカメラとは、ヘルメットや体に装着可能なデジタルカメラの総称

平成30年7月豪雨からの被災地での治山事業



広島県東広島市(民有林)

4-2 森林災害の復旧

災害に強い森林の再生を目指し取り組んでいます。

また、新たな山地災害が発生した際には、必要に応じて応急対策等を実施するとともに、本格的な復旧工事に向けた詳細調査等の初動対応を行います。さらに地元自治体の要請に応じ、民有林の被災状況の確認等の支援を行います。



貴船山国有林(京都府京都市)
(R3年2月)

5 生物多様性の保全

原生的な天然林や希少な野生生物の生育・生息地等を保護・管理する「保護林」や、それらを中心にネットワークを形成する「緑の回廊」を設定し野生生物の移動経路を確保するなど、生物多様性の保全に重要な役割を果たす森林生態系の適切な管理を推進します。

II 林業の成長産業化に向けた貢献

森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させていくことが、我が国の森林・林業にとって重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、民有林との連携強化、現地検討会の開催等により民有林の支援に取り組めます。

1 林業の成長産業化に向けた民有林への支援

森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させていくことが、我が国の森林・林業にとって重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、民有林との連携強化、現地検討会の開催等により民有林の支援に取り組みます。



先進造林用機械の実演（R2年9月）
ほととぎすやま
広島県安芸高田市 時鳥山 国有林

2 民有林と連携した森林整備等の推進

民有林と連携した路網整備や木材の協調出荷等に取り組みます。



- ※事例（R2年度）
- ・協定締結日：令和2年8月27日
 - ・協定者（協調出荷相手）
安芸北森林組合
 - ・協定者（出荷先）
広島県森林組合連合

3 林業の低コスト化の推進

林業の成長産業化には、採算性向上や今後予想される再造林面積の増加に対処するため森林施業の低コスト化が必要です。そのため、①素材生産と造林の一貫作業、②コンテナ苗の使用、③植栽本数の削減、④獣害防護柵設置コストの低減、⑤下刈の省力化の推進、⑥列状間伐の推進、⑦丈夫で効果的な路網整備等を推進します。



4 林産物の安定的な供給と林業事業者等の育成・強化

国有林材の供給に努め、地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献します。

また、有識者等による委員会を開催し、地域の木材価格や需要動向の把握に務めます。

国有林からの丸太供給量 単位：千m3

	委託販売	システム販売	計
令和元年度(実績)	40	63	103
うちバイオマス用		35	35
令和2年度(見込)	37	66	101
うちバイオマス用		46	46
令和3年度(計画)	49	71	120
うちバイオマス用		(未定)	(未定)

5 技術開発と普及

森林技術・支援センターでは、「森林・林業技術視察プログラム」により、府県・市町村職員及び民有林関係の方々へ、国有林でこれまで取り組んできた各種林業技術等をご案内しています。また、森林林業に係る技術・優良取組事例などの情報交換及び普及を図ることを目的に「森林・林業交流研究発表会」を開催します。



令和2年度 交流研究発表会の様子

Ⅲ 国民の森林としての管理経営

1 国立公園と国有林の連携

国立公園を管理する環境省との連携を深め、国立公園に指定されている国有林の効率的かつレベルの高い管理を進めます。



吉野熊野国立公園で予定の連携事業：皮剥防止ネット設置体験イベント（大杉谷国有林）

2 国民参加の森林づくり

広島ガス株式会社と近畿中国森林管理局長との間で天皇陛下御即位記念分収造林契約を締結し、当該国有林野を地球温暖化防止対策などの社会貢献活動のフィールドとして提供しています。

3 森林環境教育の推進

箕面森林ふれあい推進センターでは、小学校の学習指導要領の改訂に伴い、森林環境教育手引書〈小学校編〉の改訂に取り組んでいます。完成した手引書を関係機関等へ配布する予定です。

また、「Withコロナ」時代に即した新たな森林とのふれあい体験として、VR技術を利用した森林散策が可能となるデジタルコンテンツ「VR森林散策」を第1弾～第6弾まで公開しています。



VR森林散策のトップ画面

4 多様な情報発信

広く一般の方に森林・林業に対する理解を深めていただくため、各種イベントを実施します。また、一般の方や地域からの意見・要望を把握し、業務遂行の参考とします。



「水都おおさか森林の市」オープニングセレモニー

5 伝統文化の継承への貢献

京都、奈良の社寺・仏閣など歴史的木造建築物の維持・修繕に必要な檜皮（ひわだ）を供給するとともに、修復用材の育成のほか、借景となる森林景観の保全に取り組みます。

6 大学、試験研究機関との連携の強化

研究機関や大学等と「連携と協力に関する協定」を締結し、各機関が有する専門的かつ高度な知識・技術と、国有林が有するフィールド、資源、組織力を相互に活用することで、森林・林業の発展や地域の課題解決に向けた取組を進めています。



国有林での学生実習の様子（R2年11月）
大阪府箕面市 箕面国有林

「令和3年度重点取組については近畿中国森林管理局Webサイトに掲載しておりますのでご覧ください」

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/kiaku/210423.html>



第2回里山広葉樹活用シンポジウムを開催しました。

【技術普及課】

3月11日(木)、森林総合研究所関西支所との共催により、「里山の森林再生と地域振興に向けて」と題して、第2回里山広葉樹活用シンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムは、当局が平成29年度から取り組んでいる「里山広葉樹林活用・再生プロジェクト」の経過報告や、教育・研究機関、地方自治体といった多様な主体が、それぞれの立場から里山広葉樹資源の活用に関する取組を情報発信し、里山の森林再生と地域振興に向けて、皆でアイデアを出し合い、議論することを目的に開催したもので、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえオンラインで実施し、YouTubeによるライブ配信も行いました。各講演者からは、山の潜在価値の適正な評価や広葉樹施業の可能性を情報発信することの必要性、広葉樹の流通や利用の状況、林業として生産者にお金が還元される仕組みづくりなど、地域全体での広葉樹材の在り方について講演いただきました。

また、当プロジェクトの経過報告として、伐採した広葉樹を木材市場で販売し、伐採方法による収支や採算性、素材のニーズの分析などを行い、共同研究いただいている岡山大学からは、伐採後の萌芽の状況や実生更新を樹種や条件別に分析した結果を報告いただきました。

このほか、当局の若手職員で構成するワーキンググループからは、実際にアベマキ突き板を利用した製品の試作など、新たな着眼点でのアイデアを提案しており、今後も広葉樹の活用に向けた若者達の取組が期待されます。

当局では、里山の森林再生と地域振興に寄与できるよう、引き続き、当プロジェクトに取り組んでいくこととしています。なお、今回のシンポジウムの詳細は、当局ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/gijyutukaihatu/satoyamakouyoujyu.html#> 第2回里山シンポジウム



【山口局長挨拶】



【会場のモニター】

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○森林のギャラリー（局庁舎1階）現在の展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【技術普及課】

○近畿中国局フォレスターニュース・令和2年度2月号（No54）を発行しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/foresuter/katudou.html#4> 主な活動状況



【広島北部森林管理署】

○かわら版「ひろほく通信」第23号を発行しています。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohokutusin/hirohoku_tusin.html



花草木

【ヒラドツツジ】

ヒラドツツジは、ケラマツツジやモチツツジ、リュウキュウツツジなどが自然交配と実生を繰り返されてできた、大型のツツジ品種を指します。オオムラサキツツジもこの中に入ります。古くから長崎県の平戸で栽培されてきたことが名前の由来とされ、1712年に出版された『和漢三才図会』にはすでに「ヒラドツツジ」の名で紹介されていました。品種が多く花の色も、赤・白・むらさき・ピンクなどがあり、色の濃さにも違いがあります。

公園等では品種を混合して植栽されることが多く、写真の様に違う花の色が並んで咲きます。

ヒラドツツジの花言葉は「愛の喜び」です。



【桜ノ宮付近で撮影したヒラドツツジ】

我が署のスタッフ

広島森林管理署

大西 咲 (おおにし さき) (平成30年度採用)

【現在取り組んでいる仕事は？】

経理担当として、収入や支出などの契約に関する業務、物品の管理や調達等を行っています。契約を結んでから完了するまでの情報が入ってくるため、署全体の仕事の流れを学べます。

担当業務以外にも、有志の若手職員が参加するワーキンググループ(以下WG)に、令和元年度から所属しています。このWGでは「里山広葉樹材の需要を拡大するためには？」をテーマに、林業や木材、木製品販売業者の方への間取調査等を行っています。活動の中で業者の方から生の声を聞かせていただく等、貴重な体験ができています。令和2年度はWGの代表者を務め、3月に行われた里山広葉樹活用のシンポジウムで一年間の成果発表を行いました。



【リモートで行ったシンポジウムでの成果発表】

【職場の雰囲気は？】

風通しの良い職場です。上司や同僚が快く相談に乗ってくれて、一人で悩むことがありません。

【林野庁の魅力は？】

幅広い人脈を作れることです。人事異動の範囲が全国なので、全国各地に知り合いができます。また、上記WGの活動で知り合った業者の方から木育アプリへのクイズ提供依頼があるなど、職場以外の人との繋がりもできました。



【署内で執務中】

森林事務所紹介

大聖寺・小松森林事務所 (石川森林管理署)

首席森林官 田中 幸仁 (たなか ゆきひと)

(令和3年4月1日付けで三重森林管理署へ異動)

小松森林事務所は、主に石川県小松市、加賀市を管轄範囲としています。

管内には海拔数mのクロマツ造林地の海岸林から海拔1400m弱のブナ天然林の奥山まで、環境、風景が全く異なる変化に富んだ国有林野があります。



【浜山岬を望む (浜山国有林)】



【大日山山頂より白山を望む (大日山国有林)】

これらの国有林野を適切に管理するため、海岸林では隣接する建物や道路等への危険木の有無の確認や不法投棄等を抑止するための巡視等を行っています。また、奥山では、雪害や獣害を確認するための巡視や分収育林地の管理など様々な業務を行っています。

また、森林施業としては、圧倒的に海岸林が多い状況にあり、マツクイムシ被害防止のため薬剤地上散布や、被害木の伐倒駆除、クロマツの密生林分の間伐、クロマツ林に侵入するニセアカシア※の刈り払いなどを行い、海岸林の役割である飛砂や風害、潮害の防備機能が強く発揮される健全な森づくりに取り組んでいます。奥山ではスギ造林地の間伐を実施するなど、水源涵養機能をはじめとする公益機能が高まる森づくりを進めています。

当事務所が所在する小松市には、歌舞伎の演目「勤進帳」で有名な「安宅の関」があり、5月には市中の八町に曳山が繰り出し、子供歌舞伎が催されます。ちなみに、小松市のイメージキャラクターは「カブッキー」です。

新型コロナが終息しましたら、是非、小松市へ お越しく下さい。

用語解説

※ニセアカシア：1873年に渡来した北米原産のマメ科ハリエンジュ属の落葉高木で、和名はハリエンジュ（針槐）。街路樹、公園樹等として植栽されることもあります。繁殖力が強く、侵略的外来種とされています。

※スパウター：車載型大型噴霧器



【スパウター※による地上散布 (安宅林国有林)】



【筆者による分収育林地の明認行為 (垂氷国有林)】

シリーズ 『国有林 最前線！』

～日本美しい森 お薦め国有林～

山口森林管理事務所

山口森林管理事務所は、山口県内の国有林8,022ha、官行造林3,817haを管理しています。その中のひとつに、県最長の錦川に架かる、名勝「錦帯橋」の借景林である城山国有林（きんたいきょう しるやま）があります。昭和47年1月に278.35haを「岩国自然休養林」に指定し、平成29年4月28日林野庁において、「日本美しい森 お薦め国有林」の一つに選定されました。岩国自然休養林内にはロープウェイや遊歩道も整備されており、山頂の岩国城からは錦帯橋や旧城下町、遠くは瀬戸内海の島々まで眺望できるなど、年間を通じ約20万人の観光客を迎え歴史にふれることができる観光地としても有名です。



【錦帯橋の借景林 城山国有林「岩国城山自然休養林」】

また、文化財指定を受けている神社・仏閣の保存修復等に必要（ひわだ）な檜皮を供給するため、樹齢80年生以上のヒノキ人工林44haを檜皮採取対象林として設定し、平成13年から公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会と協定を締結し、檜皮の採取及び原皮師養成（もとかわし）の場等として、伝統文化の継承に貢献しています。

種々の文化遺産と旧藩主により守られてきた照葉樹林は樹種も豊かで森林公園としての機能も高く、自然景観に恵まれているため、ハイキング、自然探索、生態観察、遺跡探訪などの野外教育の場として子どもから大人まで多くの人々が訪れ、国民の保健・休養の場として幅広く利用されています。



【檜皮採取】



【岩国城】